

平成 28 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルデザイン
代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦
(コード：4764、JASDAQ グロース)
問合せ先 取締役 星川 征仁
(TEL. 03-5259-5300)

当社代表取締役社長の経費利用に関する不適切処理について

この度、当社代表取締役社長による会社経費の利用について、不適切な処理が判明しました。当社は発覚後直ちに監査等委員会による内部調査を開始しており、迅速に全容の解明に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様、お取引先および市場関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をお掛けすることをここに深くお詫び申し上げます。

記

1. 不適切な処理の概要

平成 29 年 1 月期第 1 四半期の決算処理過程の中で監査法人からの指摘があり、平成 29 年 1 月期第 1 四半期の期間中、当社代表取締役社長が、毎月自ら立て替え使用した会社経費（総額 672,388 円）の「立替精算書」の精算処理手続きにおいて、精算内容の確認作業が内部統制ルール上適切に行われておらず、領収書等の必要な証拠書類の不備や資金使途が不明確なものが確認されました。

2. 当社の業績に与える影響

本件に関しましては、現時点で当社の当期業績への影響は軽微であるものと見込んでおります。

3. 今後の対応について

本件が発覚した平成 28 年 5 月 27 日から、直ちに監査等委員会により平成 29 年 1 月期第 1 四半期の代表取締役の立替精算（総額 672,388 円）の実態について、処理手続きや証拠書類の確認、資金使途の妥当性について内部調査、確認作業を進めておりましたが、平成 28 年 7 月 22 日開催の取締役会において、現在までの調査状況、得られた結果から、内部統制ルールの設定及びその運用に問題が確認され、資金使途についても疑義が残る状態であることから、より詳細な調査を迅速に実施する必要があると判断し、内部調査委員会（増員した代表取締役を責任者として、外部より弁護士及び公認会計士を加えた体制）を設置し、8 月上旬を目途に作業を進め、調査結果を確定させます。また、本調査を円滑に実行し、且つ、事業推進に遅滞がないよう、速やかに必要な意思決定を可能とするために、調査が完了するまでの期間、代表取締役の増員を行う決議をいたしました。また、調査結果によっては、第三者委員会の設置や過年度へ調査範囲の拡大など、事実関係の究明のため必要な措置を速やかに実施し、再発防止への具体的取組を行ってまいります。

調査結果等につきましては、確定次第速やかに開示いたします。

以 上